

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2012年12月1日

111号



南国の女王チバトの花

この時期、パラグアイ首都アスンシオンに着くと、街路樹にチバトの花が至るところで鮮やかな朱色をして人々の目を楽しませています。南米では珍しくない樹木のようにです。

葉は涼しげで、花は鮮やか、南国に相応しい色合いであり、樹高は大きくなると20m程にもなり、素晴らしい木陰を作り、人々の憩いの場を作り出してくれます。花の色は、黄色が混ざった朱色との混色もあります。

レダでは、植樹園の中だけでなく、公館や宿舎の周りにも成長してきたチバトの花を見ることができますが、全て植樹したもので、この近辺の自然の森の中では見たことがありません。チバトの実、なた豆の実のような半月の刀に似た形をして、30~40cm程もあり、はじめは緑色で、熟すに従って茶色となり、最後はカチカチに固くなるとともに黒ずんで来ます。さやの中には、黒い豆が幾つも綺麗に並んで入っています。木によって異なりますが、レダでは、年に二回咲く木もよく見かけます。(飯野記)

◎ ホウオウボク (鳳凰木、学名: *Delonix regia*) は、ジャケツイバラ科 (新エングレー体系とAPG植物分類体系ではマメ科) の落葉高木である。パラグアイではチバトと呼ばれ、街路樹によく使われる。

青年奉仕隊の報告 次に、柴沼から青年奉仕隊のフアイルで大統領に説明しました。「八月末から九月半ばまで日本の青年がパラグアイにボランティアに来て、大統領にお会いできるのを楽しみにしていました。しかし、大統領のスケジュールが合わなかったため、お会いできず本当に残念であつたと言っていました。彼らがパラグアイに来て、パラグアイの人々のあたたかさとパンタナールの自然の素晴らしさに触れ、心からパラグアイが好きになつたようです。ボランティアに来て

次に、大統領にフアイルを見ていただきながら、青年奉仕隊の活動を少しの時間報告しました。「私が日本各地でパンタナールの紹介をするとは是非、訪れたいとの多くの声があります。雨が降ると交通手段が不安定なので、エコツアーなどの計画を進めることが困難です。オリンピックにコンクリートの滑走路を造つても「らいたい」と大統領に要請したところ、すでにその方向で進んでおり、近々、きちつとした滑走路が出来るとのことでした。

レダ開発を紹介 続いて、今までレダでは環

また、日本の青年たちに色紙に一言をとお願いしたところ、下記の内容を書いてくれました。
(柴沼記)

パラグアイ大統領 フィデリコ フランコ



国際協力青年奉仕隊の足跡

11月1日の午前中、佐野さんとともに過去、青年奉仕隊が行き、学校を建て、植樹活動をしてきた3つの村を訪れました。



ディアナ村に大きく育つニームの木

も子供たちは懐かしく思っており、何時でも訪れてほしいとの事でした。植樹で植えた樹は川沿いの土地が高いところは昨年の大洪水でも浸水しなかったのとてもよく育っていましたが家の近くの村に植えた樹はほぼ全滅でした。全体では40%ほどが残っているのではとの印象でした。

エスペランサ村はいつも訪れている村ですので、学校と植樹で植えた樹を映像で撮り、時間もあまりなかったのでレダに帰ることになりました。

レダでは10月終わってから11月初めにかけて川の水が急激に低くなって、魚が浅瀬に集中するため、鳥たちの群がる場面に何度も出会いました。ローマプラタからレダへの道の途中でも、レダの支流でも、またレダからエスペランサ村でもトゥユユが数十羽から数百羽、群れているのを見ることが出来ました。とても壮観でした。

柴沼記



マジョ村で洪水を免れ元気に育つニームの木

た。

ディアナ村では30年以上、カソリックの尼でありながらディアナ村の教育に尽力を尽くされた校長が定年退職し、以前から教師をしていた方が校長になっておりました。ディアナ村で植樹した樹は7-80%は育っており、特に植林活動の最後に青年たち自らが樹を植える穴を掘った、2本の樹は立派に育っていました。先生方もそのことを知っており、この木はとても素晴らしく育っていると報告してくれました。ディアナ村は神山威先生がインディヘナ村を訪問した時、最初に学校建設を決定した村で先生方も「今、神山先生はどこに居るのか」と懐かしそうに尋ねて来ました。

学校の生徒も増えて来ており、教室が不足していること、また生徒が勉強する椅子、机が不足しているのどうにかならないかとも要請されました。

今回、日本から持っていった文具を渡して来しました。

マジョ村では村の代表と学校の校長に日本の青年が来た時の印象を話してもらい映像で撮りました。今で

教室で授業が始まりました



10月号で、マリア村の小学校の先生方から、屋根の修理に対する感謝がありました。子供たちの授業風景の写真が届きました。子供たちも、教室に入って授業ができ大変に喜んでいましたとのこと。屋根が吹き飛んでしまい、長く教室での授業ができず、不自由な状況でした。一方、青年奉仕隊が植えた並木は雨が降っていないので成長には厳しい環境ですが、学校の中は先生がしっかりと管理してくれ、ブーゲンビリアはすべて花をつけ大きくなっています。

マリア・アウシリアドーラの生徒たちが皆、今でも日本の青年たちと過ごした日を思い出しては語っているようです。報告 佐野

2013年カレンダーご案内



2013年用カレンダーの制作が進められています。まだ一部デザインが修正されますが、掲載される写真を紹介します。

今回使われている写真は、全体的にメインがパンタナールでのカウボーイと牛の群れです。更にカピバラ・ワニ・小鹿・豹などの動物たちが中心のカレンダーとなっています。

購入申し込み受付を開始しました。第一次〆切は12月10日です。

お値段は例年と変わりません。一枚400円、部数が増えると割引があります。入荷次第、申し込み順で発送します。（飯野記）

左下写真は、10番ゲート前（アンテルコ前）の岸で遊んでいた2匹の兄弟カピバラです。（6月撮影）

1	2	3	4
Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
5	6	7	8
Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24



2013年カレンダー注文 カレンダー代金

1-9枚 1枚400円 10-19枚 350円
20-49枚 300円 50-99枚 250円
100枚以上 1枚200円

お送りする場合は、上記金額に包装代300円が加算されます。着払いとなりますのでよろしくお願いいたします。

- ①申込者名
- ②部数 金額 円
- ③受け取り方法：事務局にて 郵送にて（どちらかを○で囲む）
- ④郵送の場合 電話番号 住所 郵便番号□□□-□□□□も記入してください。
- ⑤支払い：振込または現金（どちらかを○で囲む）
郵便口座 口座番号 00290-5-113072
南北米福地開発協会 代表 飯野貞夫
三菱東京UFJ銀行
宮崎台支店 口座番号 0135497
南北米福地開発協会 代表 飯野貞夫

南北米福地開発協会 事務局
〒二一三〇〇〇一
神奈川県川崎市高津区
溝口三十一番十五
岩崎ビル四F
電話 〇四四一八二九一八二二
Fax 八二九一二八二〇
会費納入 郵便口座
一〇一八〇一七七六八〇四七一
Eメール office@asd-nsa.jp
ホームページ http://www.asd-nsa.jp

南北米福地開発協会
地球家族として
自然を守りましょう
南米、パラグアイ、パンタナール地域
へのエコツアーならびに植林活動
を通じて
生態系の維持と強化を促進し、その
地域をモデルとし、
世界に環境保護の大切さを
訴えています。
会費は月五〇〇円、
毎月、パンタナール通信を送ります。
また、
各種のセミナー、エコツアー等の
案内をいたします。